

## 日本物理学会領域 2 運営会議 議事録

日時: 2014 年 11 月 19 日 (水) 12:08-12:43

場所: 新潟市朱鷺メッセ E 会場

司会: 領域 2 代表 斉藤輝雄

書記: 領域 2 役員 本多充

出席者: 約 20 名

### 報告事項

1. 2014 年 10 月からの領域 2 役員体制について説明があった。
2. 学生優秀発表賞について、2014 年年次大会の結果報告があった。今回の PLASMA2014 では若手優秀発表賞に統合されている。
3. 領域 2 より第 9 回 (2015 年) 若手奨励賞に推薦した 2 名について受賞が決定したことの報告があった。
4. 第 70 回年次大会の講演募集の案内があった。
  - 企画セッション「非平衡極限プラズマ」について: 通常企画セッションは 2 年程度で区切りがつくが、次回が 3 回目になるうえ研究分野の進捗が芳しいので、後 2 年ほど延長したい。
  - 企画セッションの狙いとして、そのテーマが新しいキーワードとして登録される目的が有るが、そのためには物理学会に諮らなければならないので大変である。企画セッションは領域 2 内の独自判断で設定できる。ちなみに、この企画は領域 2 で初めてのもの。
  - まずは 2 年延長して、その中で揉まれながらキーワードとして上げるかどうかを判断することにする、ということで承認された。
5. 第 70 回年次大会の招待・企画講演について報告があった。
6. 物理学会参加費の値上げ (一律千円の値上げ) の報告があった。
7. 講演概要集の電子化について報告があった (Web アクセス権、DVD 版、両方)。1 購入ごとに URL を発行するので、特定の URL に対して多数のダウンロードがないかどうかを監視していく。カラーが可能になり、概要締切期限が 2 週間程度後に遅らせられることになった。
  - これまで概要集は分冊だったが、全体で 1 つのものになるはず。
8. 合同領域の記載方法の変更について報告があった。主領域の表記がなくなる。
  - 領域ごとの発表者数の統計はどのように取るのかについて議論がなかったので、要確認。
  - この変更は記載だけの問題なので、提案母体に発表者が帰するはずだが (米田さん)、やはり要確認。
9. 科研費細目分科の再編成について報告があった。
  - 応用物理学は元々工学だったが総合理工に移ったはずで、数物系科学ではないのではないか (米田さん)。  
※指摘通りであった。

10. 登壇者の交代への対応について報告があった。
11. 日本物理学会論文賞について報告があった。近年領域 2 からの投稿は少ないが、現在 1 件応募があり、推薦する方向で調整している。
12. PLASMA2014 のファクトデータについて紹介があった。
  - 一般講演 671 件（口頭 213 件、ポスター458 件）
  - 一般講演ポストデッドライン 15 件（ポスター15 件）
  - 若手優秀発表賞審査ノミネート 222 件
  - 総参加者数 890 名程度（前回は千名程度）

以上